

## 町家の奥行きを生かし、物販とカフェが絡み合う

「kaico café」は、珪瑯器物「kaico」や台所用用品「ambai」を取り扱う小さな問屋が営む、カフェと物販店である。オーナーが商品開発のために日本全国を巡り、つくり手と関わりながら製品づくりを続けているうちに「つくり手の気持ちを直接伝えたい」という想いが膨らみ、出店に至った。

立地は、日本一長いアーケードでもある、大阪・天神橋筋商店街の南端。戦後間もなく建てられた町家建築で、通りに面して2階建ての母屋を持ち、中庭を挟んで蔵を配している。

店舗計画は、商品を販売すると共に体感してもらうことを目的に、物販とカフェがあいまいに絡み合う。建物の構造を踏まえて、母屋の1階を物販と厨房とし、元々あった続き土間にカフェの窓口を開き、奥行きのある佇まいとしている。客席は2階と中庭、蔵というように建物内に点在し、それぞれが異なる印象を持つ空

間に仕上げられた。特に2階の客席は、既存空間に杉材の箱部屋を配し、その周りの隙間に席を設けた個性的なもの。この箱部屋では、コーヒーのワークショップを開いたり、近くの寄席の若手が高座として落語をしたりと、製品や地域を伝える活動の場としても使われている。

### DATA

設計: Koizumi Studio 小泉 誠 平田真貴  
 施工: ma plus design 松嶋謙一  
 施工協力: 空調・電気設備 / 奥山電器商会 給排水衛生設備 / トータル設備 厨房設備 / 清水陶器店 家具 / 若菜家具 kitoki こいずみ道具店 什器 / キレ木工所 松下木材 新井製作所 然 サイン / テーブル工房kiki 中庭 / 象庭設計事務所 瓦 / 井上瓦店 塗装 / 山下塗装 造作 / ヤスタ建設 岡田工務店 建具 / 清水建具  
 工事種別: 内外装 全面改装  
 床面積: 106.83㎡ / 1階72.06㎡ 2階34.77㎡  
 工期: 2016年4月5日～7月12日

### 営業内容

開店: 2016年7月16日  
 営業時間: 午前11時30分～午後7時30分  
 定休日: 火曜日 電話: (06) 6809-6188  
 経営者: 榎フォームレディ 竹原美己  
 従業員数: 物販2人 厨房2人 合計4人

### 〈カフェ〉

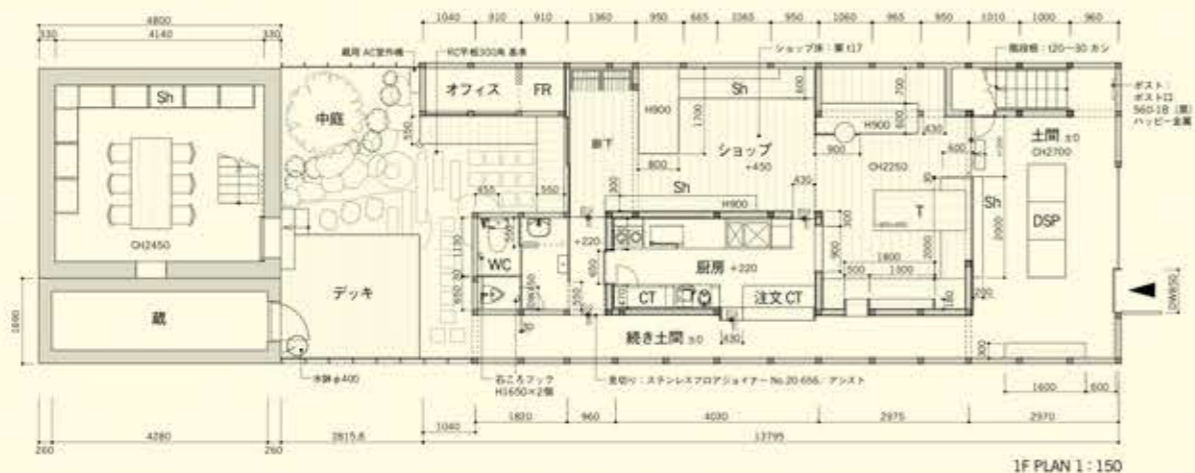
客席数: 36席 客単価: 850円～  
 客回転数: 2～2.8回  
 主なメニューと価格: kaicoオリジナルブレンド珈琲 500円 真面クラフトビール600円 自家製ケーキ400円  
 季節創作のプレート600円～

### 〈物販〉

客単価: 2400円  
 主な取扱商品と価格: kaicoドリップケトル7500円 ambai 玉子焼き角小4300円 asahineko曲輪テーブル(540) 3万円 木頭ゆずの食品(さば缶・オリーブオイル・ボン酢・御煎餅など)400円～

### 主な仕上げ材料

屋根: ガルバリウム鋼板(セリオス / 日新製鋼) ツヤ消し仕上げ(ダークグレー)  
 外壁: 既存AEP 一部杉板AEP  
 サイン: 国産杉材三層クロスパネル(Jパネル / 丸天星工業) レーザー加工  
 床: 1階 / クリ材t17貼り 既存土間 2階 / Jパネルt30貼り  
 壁: 耐水ボードt12.5下地AEP 2階 / 一部Jパネルt30 木材保護塗料塗布(リボス)  
 天井: 既存現し  
 家具: テーブル750角 / アッシュ無垢材t25 丸テーブルφ800 / アッシュ無垢材t25  
 什器: Jパネルt30木材保護塗料塗布(リボス) シナ材フラッシュ染色仕上げ(白) + CLツヤ消し仕上げ カウンター / 天板・Jパネルt30木材保護塗料塗布(リボス)



1. 設計を手掛けた小泉誠さん (Koizumi Studio) デザインの珪瑯ドリップケトル「kaico」シリーズ 2. 2階客席には、落語やワークショップなどのイベントスペースとしても使用される小上がりの箱部屋を設けた 3. 箱部屋は国産の杉材パネルを使用しており、角度を揃って配することで空間に奥行きと多様性を生み出す 4. 母屋から中庭を抜けた先にある蔵も、客席として設えられた 5. 既存梁を現した1階物販スペースを中庭方向に見る。国産の杉材三層クロスパネルを使用した什器は、すべてオリジナル 6. ファサード夜景。築70年の町家建築を改装した。屋根は既存瓦を葺き直し、元の建物の姿を残している